令和3年度 教科名 理科

教科	理科		科目	理科	単位	4単位	年次	中学2年	
使用教科書		未来へひろがるサイエンス2(啓林館)							
副教材		新中学問題集 理科2年							

## 1. 担当者からのメッセージ (学習方法等)

この授業では、日本語・英語のどちらも習得する必要があります。単元の始まりには用語の説明をどちらの言語でも行いますが、問題を解いたり実験に取り組んだりする時にはそれらが理解できた状態で臨んでください。もし質問などあれば職員室までお願いします。

## 2. 学習の到達目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成 することを目指す。

## 3. 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:知識·技能	b:思考·判断·表現	c:主体的に学習に取り組む態度				
観点の主旨	身近な現象を日常生活や社会と関連付けながら、それらの観察、実験などに関する技能を身につけること	身近な現象について、問題を見出し見通しをもって観察、実験などを行い、様々な現象に関する規則性や関係性を見出して表現すること	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に着けたりすることに向けて粘り強く取り組もうとすること				
評価方法	行動観察、発言、発表、探Qシート、パフォーマンステスト、レポート、ワークシート、小テスト・定期テストなど	発言、発表、探Qシート、ワークシート、小テスト・定期 テストなど	行動観察、発言、発表、自己評価、レポート、探Q シート、ワークシートなど				
上に対	上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。						

## 4. 学習の活動

4. 子首の2	当到						
月	単元	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
7	<u>単元</u>	于自 <b>内</b> 台	а	b	С	単元(退物)砂計画烷华	計巡力法
4	「Home 经空门	1章 物質の成り立ち 2章 物質の表し方	0	0		物質の最小単位「原子」を理解し、 それに関する情報、ならびにそれ に係る実験等を適切に理解してい ること	提出物、実験等
5	[物質] 化学変化と原子・分子	3章 さまざまな化学変化		0		様々な物質とそれらが織り成す化 学反応を実験等を通して理解して いること	提出物、実験等
6		4章 化学変化と物質の質量			0	化学反応から質量の変化について 適切に理解できていること	提出物、実験等
7	[生命] 生物の体のつくりとはたらき	1章 生物の体をつくるもの	0	0		生物の体のつくりと働きとの関係に	定期テスト
8		2章 植物の体のとくりとはたらき		0		着目しながら、生物と細胞を理解し、それらの観察、実験などに関する技能を身に付けていること	提出物、実験等
9		3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ	0		0	体の構造や器官の働きを実験等で 適切に理解していること	提出物、実験等
10		1章 地球をとり巻く大気のようす 2章 大気中の水の変化	0	0		大気に関する用語、事象の発生に ついて理解していること	提出物、実験等
11	[地球] 地球の大気と天気の変化	3章 天気の変化と大気の動き		0		ある地点から観る天気の変化とそれを包括する大気について適切に 理解できていることをアクティビ ティー等を用いて理解できていること	提出物、実験等
12		4章 大気の動きと日本の四季	0		0	既習事項と日本の四季が生まれる 理由について適切に理解できてい ること。	定期テスト
1		1章 電流の性質	0	0		電流の性質について実験等を通し て理解できていること	提出物、実験等
2	[エネルギー] 電流とその利用	2章 電流の正体	0	0		電流がどのゆに発生し、事象として存在するか適切に理解できていること	提出物、実験等
3		3章 電流と磁界			0	電流から生じる磁界について実験 等を通して理解できていること	定期テスト

※表中の観点について

a:知識·技能 b:思考·判断·表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※ 原則として一つの単元 題材で全ての観点について評価することとなるが、学習内容・小単元の各項目において 重点的に評価を行う観点もしくは重み付けを行う観点について○を付けている。